

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年6月21日(2007.6.21)

【公表番号】特表2006-525773(P2006-525773A)

【公表日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-044

【出願番号】特願2006-514284(P2006-514284)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/16 (2006.01)

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/16 Z

H 0 4 N 7/173 6 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月27日(2007.4.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

デジタルテレビジョン信号の処理方法であって、

第1のコンテンツレーティングシステムに関連した第1のコンテンツレーティングデータと、第2のコンテンツレーティングシステムに関連した第2のコンテンツレーティングデータを有するデジタルテレビジョン信号を受信するステップと、

前記受信したデジタルテレビジョン信号を処理してテレビジョン番組信号を取得するステップと、

前記受信したデジタルテレビジョン信号を処理して第1と第2のコンテンツレーティングデータを取得するステップと、

前記取得した第1と第2のコンテンツレーティングデータのうちのいずれか一方が前記第1と第2のコンテンツレーティングシステムのブロックされたコンテンツレーティング設定にそれぞれ対応するとき、前記番組信号の使用を阻止するステップと、

を有することを特徴とする方法。

【請求項2】

テレビジョン信号レシーバであって、

第1と第2のコンテンツレーティングデータを含むデジタルテレビジョン信号を受信するよう動作可能なデジタルチューナと、

前記デジタルチューナに接続され、i)前記同調したデジタルテレビジョン信号から番組信号を取得し、ii)前記同調したデジタルテレビジョン信号から前記第1と第2のコンテンツレーティングデータを分離するように動作可能なデジタルテレビジョン信号プロセッサと、

前記デジタルテレビジョン信号プロセッサに接続され、i)前記取得した第1と第2のコンテンツレーティングデータを処理し、ii)前記取得した第1と第2のコンテンツレーティングデータのうちのいずれか一方が前記第1と第2のコンテンツレーティングシステムのブロックされたコンテンツレーティング設定にそれぞれ対応するとき、前記テレビジョン信号レシーバが前記番組信号を使用することを阻止するように動作可能なコンテンツレーティングデータプロセッサと、

を有することを特徴とするテレビジョン信号レシーバ。